

宮崎みなとまつり2016



今年は、海上保安庁の測量船と帆船「みらいへ」が寄港するほか、県内漁協・水産会社の海の幸を使用した「食」のイベント、ステージイベント、体験航海、宮崎海洋高校のカッターレースなど盛りだくさんの内容です。詳しくは、「宮崎みなとまつり2016」ホームページで確認できます。

- 日時／5月4日(水・祝日) 10時～19時
- 場所／宮崎港(国際観光船バース・みやざき臨海公園)
- ※天候や波の状況によっては中止となるイベントもあります。

[問] 宮崎みなとまつり実行委員会 (☎51-5899, FAX53-8922)
または企画政策課(☎21-1711, FAX31-6557)

みやざき国際ストリート音楽祭2016



第21回宮崎国際音楽祭の歓迎セレモニーのほか、同音楽祭に出演するティンパニー奏者の百瀬和紀さんら6人の打楽器奏者と県内の吹奏楽団による「百瀬和紀 スーパー・ドラムライン」をはじめ、県内外のプロ・アマ演奏家が、橋通りをメインステージに華麗な演奏を披露します。

- 日時／4月29日(金・祝日) 13時～18時30分
- 会場／橋通り(歩行者天国)
- ※雨天時は、宮崎市民プラザなど屋内で行います。

[問] 同ストリート音楽祭実行委員会事務局 ☎60-3911, FAX89-4979

ビートたけしのアートが100点! アートたけし展



©OFFICE KITANO INC.

マルチな才人ビートたけしの版画や絵画、コラージュ作品など約100点を展覧します。期間中は、宮崎限定企画として、記念撮影コーナー近くでのワークショップ「キタノマンションのご近所さんになるう!」など、たけしさんの作品に親しむイベントもあります。

詳しくは、みやざきアートセンターホームページで確認できます。

- 日時／4月29日(金・祝日)～6月5日(日) 10時～19時(29日のみ20時まで)
- ※入場は終了の30分前まで
- 場所／みやざきアートセンター
- 料金／一般1,000円(前売り800円)、中・高校生700円(前売り500円)
- ※小学生以下は、展覧会入場無料(ただし、保護者同伴)
- チケット販売場所／みやざきアートセンター、宮崎キネマ館ほか市内各プレイガイド

[問] みやざきアートセンター ☎22-3115, FAX22-3116

宮崎市まごころ工芸展



伝統を引き継ぎながら、新しい作品づくりに挑戦している市内の工芸作家が制作した逸品を、実演・展示販売します。今回は、プーゲンピリアを題材にした作品もあります。ぜひご覧ください。

【出展品目】 彫刻ガラス、七宝焼、陶磁器、布小物など

- 日時／4月15日(金)～25日(月) 8時30分～19時
- 場所／宮崎プーゲンピリア空港 1階オアシス広場

[問] 市特産工芸品協会(☎27-8491, FAX28-6572)
または工業政策課(☎21-1793, FAX28-6572)

中 学校の技術科の授業で学んだ知識を生かしてロボットを製作し、競技の中で創意工夫やチームワークなどを総合的に審査する「創造アイデアロボットコンテスト」。県大会と九州大会を勝ち抜き、24チームが参加した全国大会で、見事優勝した二人は「勝ち進むにつれ、他のロボットの精度が高くなり、相手チームの真剣さが伝わってきて緊張したけど、優勝できてよかったです」と振り返ります。

「部活も頑張りながら、来年も全国大会を目指したい」と意欲的。文武両道で、どちらも高い成果を目指して努力を続けています。

Catch your Dream!

夢をつかめ!

二人で勝ち取った日本一
来年も全国大会を目指したい

Dream 24 野間 貫太さん(左) 黒木 優樹さん(右)

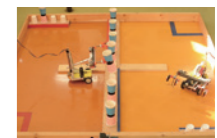
大淀中学校

動画は
ココから



Profile

共に中学2年生(取材当時は中学1年生)。ロボット製作に興味を持ち、創造アイデアロボットコンテストへの出場を決意。身長差のある二人が追い掛ける姿に、友達が付けたチーム名はトムアンドジェリー。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。

市長コラム



一里山(高岡町)のシバザクラは、まさに地域の宝ですね!
※写真は昨年4月11日撮影



まちづくりは宝探し・宝磨き

春の新たな息吹を感じるこの季節は、学校では新学期、企業や官公庁では新年度を迎え、心機一転、新しい生活や事業がスタートします。本市でも、人口減少社会に対応するため、雇用創出や観光振興、地域コミュニティの活性化を図るなど、地方創生に向けた取り組みを本格的に推進していきます。

私は、「まちづくりは宝探し・宝磨き」と常々申し上げています。私たちの住むまちには、その地域にしかない歴史・遺跡・遺構・伝統行事・人材など、数えきれない「お宝」が存在していると思います。よそをうらやむのではなく、自分たちの足元に目

を向けることが大事です。今年度、その「お宝」を発掘・発信する取り組みを支援する事業を始めます。「お宝」をどのようにして誇りあるものに磨き上げていか、これこそが地方創生の原動力となり、ひいては本市の総合力を向上させることにつながります。

次世代につなぐまちづくりを進めるため、家族や隣近所、自治会や地域自治区など、市民総力で知恵を出し、全力を注いでいただきたいと思います。「お宝」は必ず、まちの輝くシンボルになると考えています。さあ皆さん、発掘調査を始めましょう。未来を担う子どもや孫への贈り物を探すために。



※コラムタイトルは戸敷市長の「宮崎市版・365日誕生花」であるネコノヒゲ(8月31日)にちなんだものです。